茨城県から

砂沼サンビーチ跡地の利活用方策調査の結果が示されました。

家族とともに楽しい思い出をつくる

県西地域の新たな交流拠点へ

砂沼サンビーチ跡地利活用

■導入機能のイメージ図

〔コンセプト〕都心近傍の湖畔における広々として高質なアウトドア複合拠点

高規格のキャンプ場をメインに、子供から大人まで楽しめる本格的なアスレチック、砂沼を活かした水上アクティビティ用の桟橋、ランニングステーションを併設し、アウトドア・アクティビティの複合施設として再生

■賑わいを取り戻す

砂沼サンビーチは昭和54年にオープンしてから、多くの利用者に愛されてきました。しかし、平成15年以降、入場者数の減少傾向が続き、施設も40年が経過し、老朽化が進み、多額の修繕費用が見込まれるなどの理由から、市は平成30年12月に「砂沼サンビーチの施設を取り壊し、更地にしたうえで、年間を通じて利用可能な施設の整備を模索する」方針を示しました。

■持続可能な施設へ

茨城県が実施した調査では、まずはレジャープールとしての再建可能性を検証していますが、全国的にプール市場が縮小傾向にある中、民間事業者の進出意向もなく、民設・公設ともに困難と判断されています。跡地利活用の基本的な考え方として、①県内外から人を呼び込み、楽しめる県西地域の交流拠点、②民間事業者の柔軟なアイデアを盛り込んだ持続可能な施設、③家族とともに楽しい思い出を作れる場として砂沼サンビーチが果たしてきたレガシーを継承する施設の３つを骨格として、効果的な利活用方策が示されました。

■地域への波及効果

年々増加しているキャンプ市場を背景に、主にファミリー・初心者層を取り込み、場内や直売所でのキャンプ食材の提供による「地域食材の消費拡大」、「周辺施設・地域商店の利用拡大」、湖面や遊歩道利用の活性化による「砂沼広域公園全体の賑わい創出」など地域への波及効果も高いものと整理されています。

また、子どもから大人まで楽しめる本格アスレチック施設、シャワーや更衣室を備えたランニングステーションなどの交流拠点施設などが導入機能案として提案されました。

■砂沼サンビーチ跡地利活用調査結果の公表

茨城県により実施された「砂沼サンビーチ跡地利活用調査結果」の詳細については、茨城県ホームページにて公表されております。

※茨城県ホームページ https://www.pref.ibaraki.jp/index.html

砂沼サンビーチ跡地利活用調査　検索

■説明会の開催

砂沼周辺のまちづくりについて、市民の皆様のご意見を伺う機会として、説明会を予定しています。準備が整い次第、お知らせ版等により周知します。

問 企画課　☎0296－43－8367　FAX 0296－43－1960